

## 初夏の門入ダム散策



門入ダム散策。天気もよく少し風もあり、気持ちよく歩くことが出来ました。行きのバスの中では、名前を呼んで、元気よく手をあげて返事をしたり、手遊びで「ゲー、チョコキ、パーで何つくろう」や、「むすんで、ひらいて」の歌を職員とともに利用者と楽しく手を動かしたりワクワクしながら現地へ行きました。(詳細は3ページへ)

### ポム・ド・パンの理念

- ・障害があっても、誰からも愛される人に成長できるように、丁寧に寄り添って関わります。
- ・障害があっても、正しいことを根気よく伝えることにより、何歳になっても成長することを信じます。
- ・障害があっても、できることが増えるように、様々なことを獲得できるように、一貫性をもって、継続して支援します。
- ・障害があっても、その方の得意なことを、大好きなことを見つけ、これを通して、生活基盤を作ります。

# ひなまつり 3月3日

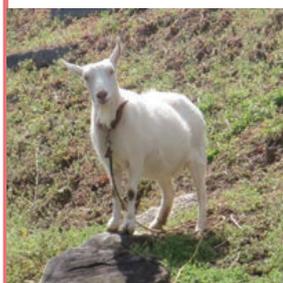


ひなまつりに合わせた手遊びをした際には、全員で鳴子を使った、練習してきた振付けを発表する良い機会になりました。  
また、手作りひなまつりの紙芝居を利用者と一緒発表しました。それぞれの利用者の良さが伝わる場面となりました。  
ひなあられも上手に食べられ楽しい時間となりました。

生活支援員 香西佐和子



## トピックス① くらら



カメラ目線、きれいに撮れてる？



ひな祭りでは手遊びを余暇時間やバスの移動時間に振付けを練習しました。全員曲に合わせて楽しく会場披露する事が出来ました。

生活支援員 道倉 寛史

# お楽しみ運動会

5月12日



利用者さんと一緒に楽しい時間を過ごしました。日頃なかなか身体を動かす機会が少ない利用者さんにも身体を動かすことの楽しさを味わってもらえて本当に良かったです。活動を通じて利用者さんの表情、動作、しぐさを見ることができて嬉しく思いました。

その上、安定性、安全性、集中力の維持、身体能力や柔軟性の向上に繋がりました。利用者さんが「もっとやりたい!」と思える環境作りに努め、今後も利用者さんと共に楽しい時間を過ごせるよう努力し支援していきたいです。

主任生活支援員 松田 仁美



久しぶりの運動会ということで、C1の利用者さん達は始まる前からワクワクしている様子でした。

体を動かし、競い合い、楽しい時間を過ごせました。笑顔いっぱいでした!

生活支援員 白井 麻美



## スペシャルオリンピックス



スペシャルオリンピックス(SO)とは、知的障害のある人(SOでは「アスリート」と呼ぶ)に、日常的なスポーツトレーニングと、その成果の発表の場である競技会を年間を通じて提供し、その社会参加を応援する国際的なスポーツ組織です。スペシャルオリンピックス日本・香川(SON・香川)は「公益財団法人スペシャルオリンピックス日本」から地区組織として認証されている団体です。

スペシャルオリンピックスの使命は、知的障害のある人たちに年間を通じて、オリンピック競技種目に準じたさまざまなスポーツトレーニングと競技の場を提供し、参加したアスリートが健康を増進し、勇気をふるい喜びを感じ、家族や他のアスリートそして地域の人々と、才能や技能、友情を分かち合う機会を継続的に提供することです。スペシャルオリンピックス

ス是非営利活動で、運営は「ボランティアと善意の寄付」によっておこなわれています。

ウインドヒルもファミリー会員として積極的に参加し、協賛企業である日本コカ・コーラを通じ自動販売機の売上の一部を寄付しております。

アスリート、コーチ、ボランティアを募集中とのことですので、興味のある方は問い合わせしてみてください。

スペシャルオリンピックス日本・香川

# 新緑ハイキング 4月13日



空港公園のアドベンチャーゾーンにハイキングに行きました。飛行機の発着を見たり、芝生広場では、走ったり、転がったりと普段あまり経験しない体験をして皆楽しめました。

主任生活支援員 鎌田 泰明



当日は、気温もちょうど良く、利用者の皆さんもご機嫌でした。みんなで散歩し、トンネルをくぐってみたり、緑の上で走ってみたりととても楽しく過ごすことが出来ました。

草花をさわってみたり、四つ葉のクローバを見つけたり、職員も自然の中で楽しくゆったりと利用者さんとふれあうことができました。

生活支援員 新藤 沙也加



# 門入ダム散策

6月3日



現地について、歩いて行くと、ダムの上に来ました。職員も高い所から下を見てみると「オ～！」となるくらいの景色。利用者さんに声をかけ一緒に見てみると利用者さんもびっくりした表情。ほとんどの利用者さんが見て怖がるくらい迫力のある景色でした。

その後みんなで写真を撮り、ダムを見ながら散策。「大きいね」とか「水が少ないね」「これがダムっていうんだよ」など声をかけながらダムを見ながら歩きました。利用者の中には「ダム」と言っている人も。帰り道は少し暑かったけど、帰りにもう一度景色を見ようとする利用者さん。怖いのか、真ん中を歩く利用者さん。見たいけど腰が引けている利用者さん。色々な表情が見られた門入ダム散策でした。職員も一緒に楽しむことが出来、とてもいい経験をさせていただきました。

生活支援員 村川 芽呉美



夏の日差しを感じる晴れわたった日に利用者さん 18名と引率職員5名で門入ダム散策に行ってきました。バスから降りると見たことのない景色に目をキラキラさせ、足取りも軽く、ダム横の木陰の木陰をゆっくり自然を楽しみながら歩きました。ダムを下まで覗きこむ興味津々の利用者さんや、怖くて道の真ん中を歩く利用者さんもいて、いろいろな発見が出来た外出でした。

人通りも少なく、緑も多くたくさんのマイナスイオンが浴びられるオススメスポットの1つとなりました。なにより利用者さんの笑顔がたくさん見れて、とても楽しいひとときでした。

生活支援員 加藤 理江



# 交通事故ゼロキャンペーン



国が定めた「交通事故死ゼロを目指す日（4月10日）を前に、地域のボランティアら総勢約3300人が8日朝、県内110か所の主要交差点などに立ち、街頭大キャンペーンを実施。参加者は通勤中のドライバーらに交通ルールの順守などを訴えました。

キャンペーンは、県交通安全県民会議等が春の全国交通安全運動（6日～10日）の一環として開催。県内全市町の主要交差点と交通量の多い道路沿いで行いました。

ウインドヒルも利用者6名が香川総合体育館前の空港通り沿いに立ち、「シートベルト着用」「飲酒運転禁止」等と書かれたプラカードを掲げ、ドライバーさんに交通ルールを守って安全運転してもらうよう呼びかけました。

## 世界自閉症啓発デー

毎年4月2日は「世界自閉症啓発デー」です。今年もコロナ過でパレードが出来なく、香川県庁内にて啓発展示を実施致しました。自閉症の啓発展示と一緒に利用者の作品であったり、普段の利用者の様子が垣間見ることが出来る行事の写真も展示致しました。

県庁の障がい福祉課の職員の方も啓発の意味を込めて青のベストを着て仕事をしてくださいました。

また発達障害啓発週間（4月2日～4月8日）の間で県内8か所において「多くの人に知ってもらいたい、年に一回香川県を青くする。ブルーライトアップ」がされました。

場所は「高松サンポート」、「瀬戸大橋記念館」、「琴弾公園内 銭形砂絵」、「四国学院大学チャペル」、「JR 琴平駅」、「旧善通寺偕行社」、「うたづ海ホテル」、「丸亀城天守」





## 三谷八幡宮春祭り

今年も5月3日(祝)三谷八幡宮春祭りに出店いたしました。今年は昨年中止になっていた「福みくじ」「子どもおみくじ」が開催され、小さな子供を連れた参拝者であったり、友達同士で来た小学生が多く、かなりにぎわっていました。ただ、まだ

コロナ対策のなかでの開催なので、飲食関係の出店はまだございませんでした。

ウインドヒルも保護者と職員からの自らにとっては不用品を提供してもらい、また利用者さんが作ったエコポット、施設で作ったコースター、竹炭等を出品いたしました。

子どもたちが自分の小遣いで買い物をする姿を見て、早くコロナ前の春祭りに戻ってほしいと強く願いました。



## 三溪小学校だより



毎月1回ボランティアで清掃活動をさせてもらっています「高松市立三溪小学校」が発行している「三溪だより」にて令和3年度の《お世話になった方々》の欄で1年間の学校支援に対してウインドヒルへの感謝のお言葉を頂きました。コロナ過であったり、雨天であったりで行けない月もありましたが、行った時には先生方に挨拶をし、落ち葉拾い、草抜きなど綺麗に清掃しています。これからも地域の皆様に寄り添った施設運営をして参りたいと思います。

(平成24年10月31日より始めて今年で10年目になります。)

### トピックス②桜



春桜満開

### 学校の窓

< 教育活動の様子を担当者が紹介するコーナーです。 >

#### 学校支援をいただき、ありがとうございました

日頃、地域の皆様には学校教育の充実のためにご支援・ご協力頂きありがとうございました。さて、本校では学校ボランティアを毎年募集して支援をお願いしていますが、昨年度同様、コロナ禍で募集を行わない年でしたが、今年も、多くの方々のご支援してくださいました。おかげで、子どもたちは新たな学びや安心を得て、学校生活を送っています。以下の個人や団体の多くの方々に深くお礼を申し上げます。

#### 《お世話になった方々》

- 総合的な学習の時間などに色々とお教えてくださった方々
- 地域の伝統を教えてくださいました方々
- 野菜づくりを教えてくださいました方々
- 毎月玄関の掲示を作ってくださいました方々
- 1年生にぞうきをプレゼントしてくださいました方々
- スマイルあいさつ運動に参加してくださいました方々
- 三谷コミュニティの方々
- 登下校や校内の安全を見守ってくださいました方々・青パトロールの方々
- 掃除ボランティアに来てくださったウインドヒルの方々
- PTA 役員の方々

【 2月の玄関掲示 】



この他にも、多くの方々にお世話になりました。

# 資金収支計算書

(自) 令和3年 4月 1日 (至) 令和 4年 3月31日  
(単位:円)

第1号の1様式

勘定科目		決算	
事業活動による収支	収入	就労支援事業収入	1,776,390
		障害福祉サービス等事業収入	218,587,670
		経常経費寄附金収入	150,000
		受取利息配当金収入	16,626
		その他の収入	1,140,111
	事業活動収入計(1)		221,670,797
	支出	人件費支出	111,950,837
		事業費支出	20,012,297
		事務費支出	32,451,426
		就労支援事業支出	1,797,729
事業活動支出計(2)		166,212,289	
事業活動資金収支差額(3) = (1) - (2)		55,458,508	

勘定科目		決算	
施設整備等による収支	収入	固定資産売却収入	200,000
		施設整備等収入計(4)	200,000
	支出	固定資産取得支出	28,974,232
		施設整備等支出計(5)	28,974,232
施設整備等資金収支差額(6) = (4) - (5)		-28,774,232	
その他の活動による収支	収入	積立資産取崩収入	1,010,881
		その他の活動収入計(7)	1,010,881
	支出	積立資産支出	686,905
		その他の活動支出計(8)	686,905
	その他の活動資金収支差額(9) = (7) - (8)		323,976
予備費支出(10)			
当期資金収支差額合計(11) = (3) + (6) + (9) - (10)		27,008,252	

前期末支払資金残高(12)	292,242,843
当期末支払資金残高(11) + (12)	319,251,095



# 貸借対照表

(自) 令和3年 4月 1日 (至) 令和 4年 3月31日  
(単位:円)

第3号の1様式

資産の部			当年度末
科	目		
流	動	資	産
現	金	預	金
事	業	未	収
貯	蔵		品
固	定	資	産
基	本	財	産
土			地
建			物
その他の固定資産			91,711,996
建			物
構	築		物
機	械	及	び
車	輛	運	搬
器	具	及	び
権			利
ソ	フ	ト	ウ
退	職	給	付
引	当	資	産
資産の部合計			1,063,060,668

負債の部			当年度末
科	目		
流	動	負	債
事	業	未	払
職	員	預	り
賞	与	引	当
固	定	負	債
退	職	給	付
引	当	資	産
負債の部合計			23,378,463

純資産の部			当年度末
基	本	金	
基	本	金	220,460,000
国	庫	補	助
金	等	特	別
積	立	金	149,143,965
国	庫	補	助
金	等	特	別
積	立	金	149,143,965
次	期	繰	越
活	動	増	減
差	額		670,078,240
次	期	繰	越
活	動	増	減
差	額		670,078,240
(うち当期活動増減差額)			28,852,295
純資産の部合計			1,039,682,205
負債及び純資産の部合計			1,063,060,668

# 事業活動収支計算書

(自) 令和3年 4月 1日 (至) 令和 4年 3月31日  
(単位:円)

第2号の1様式

勘定科目		決算	
サービス活動増減の部	収益	就労支援事業収益	1,776,390
		障害福祉サービス等事業収益	218,587,670
		経常経費寄附金収入	150,000
		サービス活動収益計(1)	220,514,060
		人件費	111,326,861
	費用	事業費	20,012,297
		事務費	32,451,426
		就労支援事業費用	1,797,729
		減価償却費	34,664,331
		国庫補助金等特別積立金取崩額	-7,450,537
サービス活動費用計(2)		192,802,107	
サービス活動増減差額(3) = (1) - (2)		27,711,953	
サービス活動外増減の部	収益	借入金利息補助金収益	16,626
		受取利息配当金収益	1,140,111
		その他のサービス活動外収益	1,156,737
		サービス活動外収益計(4)	1,156,737
	費用	支払利息	
サービス活動外費用計(5)			
サービス活動外増減差額(6) = (4) - (5)		1,156,737	
経常増減差額(7) = (3) + (6)		28,868,690	

勘定科目		決算
繰越活動増減差額の部	固定資産売却益	199,999
		特別収益計(8)
	固定資産売却損・処分損	216,394
		特別費用計(9)
特別増減差額(10) = (8) - (9)		-16,395
当期活動増減差額(11) = (7) + (10)		28,852,295
前期繰越活動増減差額(12)		641,225,945
当期末繰越活動増減差額(13) = (11) + (12)		670,078,240
基本金取崩額(14)		
基金取崩額(15)		
その他の積立金取崩額(16)		
その他の積立金積立額(17)		
次期繰越活動増減差額(18) = (13) + (14) + (15) + (16) - (17)		670,078,240



# 社会福祉法人ポム・ド・パン後援会会員

敬称略・順不同

## ●令和4年度個人会員 令和4年4月1日～令和4年5月31日

安倍 晶子	和田 則昭	和田真由美	谷川 博彰	谷川 聡	田岡 晃平	田岡 博雄	真鍋 幸恵
三好美千代	幸田加津子	河北 豊	細井 香	深井 一恵	大宅 秀美	山本 哲	佐々木久一
高嶋 誠三	高山 照子	洲崎 輝一	宮崎 成	石元 信子	佐竹 勝利	藤岡 剛	大門 亘
桑田 まり	瀬谷 之人	後藤見知子	松木知恵子	山本 勝博	宮崎 昭子	佐光 昭二	寒川 妙子
松下 静江	遠藤 能成	大西 敏夫	千代美知子	松原 馨	宮崎 歩	高嶋 和弘	石田 恵美
白川 文子	三好 紀子	和田 龍兵	新名 義隆	新名 義弘	山本 和希	三好 悦子	北條美代子
安藤 利政	真鍋 静子	加藤 恵子	山下真理子	伊賀 宏文	小川 博子	藤田 和代	村山 昌
岡 康弘	藤田 共子	朝日 光顕	朝日 由紀	石丸 和孝	松田 仁美	河島 淳子	石田 真一
重利 久代	愛川 幸子	宮崎 光	高木 俊幸	岡田美智代	高橋由佐子	大西 規子	(株)共同ガス
平山 学	万野 妙子	森永 政子	佐藤 明美	松原 健太	堤 康	塩本 洋子	増田 泰子
多田 修	森 正幸	沖野 昌志	沖野 貴子	沖野 知晴	小野 晴世	小松千賀子	上田 祐市
上田 絹代	竹田 俊夫	樽谷 学	福田 宣央	真嶋 方文	真嶋 邦子	和泉久美子	黒田 寛子
近藤 豊子	西山 香織	筒井 政志	藤岡 政温				

## ●令和4年度団体会員 令和4年4月1日～令和4年5月31日

砂入池水利組合	大成ダンボール(株)	(株)一陽パック	(有)高松機械	(有)晴天
(株)合田工務店	(株)コート	(株)トミタ	自由民主党香川県第一選挙区支部	
社会保険労務士法人アーチヴ	(有)高島産業	アイ・プロジェクト(有)	(有)香南鉄筋	
(有)百十四銀行 空港口支店				

令和4年4月1日～令和4年5月31日現在、以上の方々に継続及び新規にご入会して頂きました。  
令和4年6月1日以降にご入会の方々は、次回の会報にお名前を掲載させていただきます。本当にありがとうございます。

## 社会福祉法人ポム・ド・パン後援会のご案内

社会福祉法人ポム・ド・パン後援会は、当法人が運営する障害者支援施設「ウインドヒル」をサポートしています。今後長期にわたり、利用者一人ひとりを大切に理想的な療育を行い、施設の整備を継続的に発展させてゆくには、より多くの方々のご支援を必要としております。

何卒、私達の趣旨をご理解いただき「社会福祉法人ポム・ド・パン後援会」にご入会下さいますようお願い申し上げます。

なお、すでに会員の方には毎年年度初め4月1日付で継続お願いのご案内と振込用紙を送付しております。よろしくお願いたします。

[年会費] 個人会員 一口3,000円 団体会員 一口10,000円

[ご入金方法] 郵便振替 口座番号 01690-3-74305 口座名称 社会福祉法人ポム・ド・パン後援会

## あたたかいご支援、本当にありがとうございました



社会福祉法人ポム・ド・パンのホームページです。  
当法人からのお知らせやウインドヒルでの取り組みなどを随時更新していますので、是非ご覧ください。スマートフォンでは、右のQRコードから読み取れます。  
アドレス：<http://www.pomme-de-pin.or.jp/>



社会福祉法人ポム・ド・パン



松ほっくりのポムです。

## 編集後記

今年の高校総体の舞台は四国四県（1競技のみ和歌山県）です。テーマは「躍動の青い力 四国総体2022 燃え上れ我らの闘志 四国の大地へ」です。7月23日から約1ヵ月間、四国四県に全国の代表選手たちが集まり熱い戦いを見せてくれます。若いエネルギーのぶつかり合いを身近に感じ暑い夏を乗り切りましょう。因みに編集者の私も約40年前に高校総体に参加した一人です。



松ほっくりのパンです。